

# 平成28年北海道森づくり研究成果発表会について

企業支援部 普及調整グループ 大西人史

平成28年4月21日（木）に平成28年北海道森づくり研究成果発表会を北海道大学学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目）で開催しました。

これまで当該発表会は、木材利用部門は旭川市で、森林整備部門は札幌市で開催していましたが、今年は初めて同日合同開催とし、森林研究本部としてのまとまりを重視した、より大規模な発表会の形としました。

口頭発表は、一般発表、森林整備部門、木材利用部門で計19課題について行いました。なお、一般発表では北海道森林管理局から2件、北海道の総合振興局・振興局森林室から3件、町と民間企業から1件ずつ、森林整備部門では林業試験場から6件、木材利用部門では林産試験場から5件、町から1件の研究成果等の発表が行われました。

多数の来場者に対応するために、口頭発表は大講堂（写真1）と小講堂（写真2）の2会場で行い、講堂での開会挨拶と一般発表の様子は小講堂等でもライブ上映しました。それぞれの会場では、質問や意見を多くいただき、来場者の関心の高さがうかがわれました。

ポスター発表は、一般発表では北海道の総合振興局の森林室から2件、森林整備部門では林業試験場から11件、木材利用部門では林産試験場から14件の計27件のポスターや試作品、製品などの展示が行われました（写真3）。口頭発表者もポスター展示を行い、コアタイム（説明時間）を中心に、発表者と参加者の間で活発な意見交換が行われ、大変盛況でした（写真4）。

さらに、北海道水産林務部森林環境局森林活用課による、「活躍する森林所有者の紹介」写真展と、北海道林業普及指導職員協議会による「第31回林業普及写真展」が開催されたほか、企業相談コーナーを設けて多くの方々に利用していただきました。

全体の参加人数は471名、そのうち282名が企業・団体からの参加者でした。業界の方々の期待と関心の高さを示していると捉え、さらなる業界への貢献を図っていくところです。

本誌では当日の発表内容のうち、木材利用に関連する口頭発表、ポスター発表を3回に分けて特集します。道産CLTの実用化に向けた研究動向や、塗装木材の耐候性向上に関する取り組み、マイタケ「大雪華

の舞1号」の健康機能性についてなど、木材利用に関連する、それぞれの成果についてご一読いただければ幸いです。



写真1 講堂での発表の様子

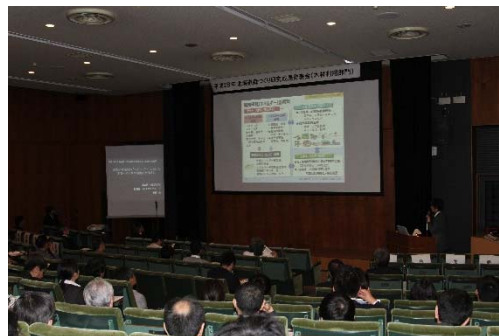


写真2 小講堂での発表の様子

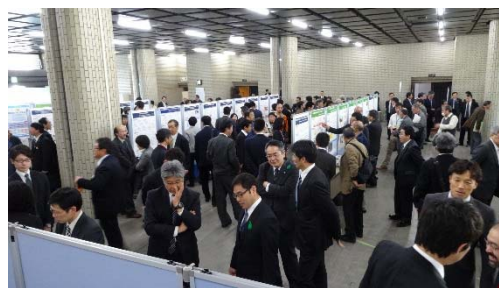


写真3 ポスター発表会場の様子



写真4 意見交換の様子